キャラクター名
朱花三鶴（あけばな・みつる）

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー ウロボロス	ワークス	不良学生（BC）D	カヴァー	不良高校生
オプショナル	サラマンダー	年齢	17	性別	男
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	44 %
出自	姉妹	経験	逃走	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	3		0			3
精神	3	1	2			6
社会	0		1			1

HP	30
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	5		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報： 噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報： BC	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：噂好きの友人	
コネ：情報屋	
カスタマイズ：サヴィ	
思い出の一品	
カジュアル	
携帯電話	
カスタマイズ：ソーシャルサービス	
エンブレム：行きつけのダイナー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
傍らに立つ影	P	N		
固定：朱花ほのか（RE）	P 尊敬	N 恐怖		
固定：時田迅（PU）	P 憧憬	N 疎外感		
シナリオ：月島 静江	P 庇護	N 不安		
PC間：今野シリカ	P 好奇心	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値-LV（下限値7）							
災厄の炎	3	4	メジャー	至近	範囲[選択]	対決	-	
効果：	攻撃力+[LV*3]の射撃攻撃。対象変更不可							
赤色の従者	1	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	従者を同エンゲージに1体作り出す。シーン1体まで作成可能。従者がシーンに存在する間、自身のあらゆる判定ダイス-3個							
血の絆	2	3	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	《赤色の従者》と組み合わせて使用。シナリオ終了まで存在する従者を作り出せる シナリオLV回							
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	対象をカバーリング可能（未行動・行動済可） メインプロセス1回							
傍らに立つ影：妖精の手	2	4+1	オート	視界	単体	自動	-	
効果：	判定ダイスの出目のひとつを10にする シナリオLV回							
原初の紫：孤独の魔眼	1	4+1	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果	:自身を対象に含む対象：範囲または範囲[選択]の攻撃の判定直前に宣言。対象：単体とし、自身ひとりに変更する。その攻撃はカバーリングの対象にならない。シナリオLV回							
声なき者ども	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	1シーンに作り出せる従者の数+LV。侵蝕率でレベルアップしない							
イージーフェイカー：煽動家	1		メジャー				-	
効果：	弁舌を駆使して操るエフェクト。多くの人々の感情を操ることを得意とする。GMは必要と感じたら<交渉>で判定							
日常の代行者	1		常時				-	
効果：	自分の代わりに学校や会社に行ったり等する専用の従者がいることを表す							
効果：								
効果：								
効果：								

使用：基本、上級、EA、LM、BC
一人称：おれ／二人称：あんた、お前／三人称：あんたら、お前ら
口調：～だろ、～じゃねえの？、～でしょ。多少ややロ調が荒い。

湾岸地区の比較的な平和な、とあるエリアに住んでいる高校2年生。カチューシャ男子。
学校では生徒会に所属しており、副生徒会長のポジションにいる。
だが、校内の噂では「副生徒会長が裏から生徒会長を操っており、裏の生徒会長は朱花」だとか何だとか。

性格は明るく、交友関係が広い。お調子者でよく喋る。人懐っこいワンコ属性。
一方で、家庭環境が最悪（親が借金持ちのうえ幼少期は虐待されていた。借金取りから逃げる際、姉と二人で逃げた）であり
幼少期から苦労してきたせいか、世を渡っていくための術として「明るく、人脈を多く持つ」というドライでしたたかな面もある。
この街で生きていくために、なるべくして不良の道に足を踏み入れた。
荒事をなるべく起こさない・巻き込まれないようにするために裏から手を回している方が得意。
表面上の付き合いが多いため、深層では愛情に飢えている部分もある。
そんな生活環境もあり、姉・ほのかのことはとても大事に思っている。

PC①・時田迅のことは「トッキー」と呼ぶ。
一匹狼の彼を面白がってはいるが、実は彼の強さに憧れを抱いている。
きっと出会ったときに「彼なら間違いない」と思うものがあったのだろう。相棒というよりは主のように捉えている。
PC①の行いは全て肯定的に捉えており、よく言えば従順、悪く言えば盲目。

戦闘では自身のアバターを従者として操る。彼の影は黒ではなくやや赤が混じった赤褐色をしている。